

《特別企画》

アンチ・マネーロンダリング対策セミナー
— FATF 審査に向けた態勢整備と監査のポイント

日 時

2018年12月21日（金）
12:30～16:30（受付開始12:00）

会 場

法政大学・新一口坂校舎（東京都千代田区九段北3-3-9）
<http://www.im.i.hosei.ac.jp/contact/access/>
市ヶ谷駅（JR、有楽町線、南北線、都営新宿線）徒歩10分
飯田橋駅（JR、東西線、有楽町線、南北線、都営大江戸線）徒歩10分

概 要

FATF審査を控え、金融犯罪の検知と防止にかかる態勢整備は喫緊の課題です。内外監督当局の要求事項やリスク評価を行うときの着眼点など重要事項を整理します。そのうえでマネロン監査について計画時、実施時のポイントを解説します。

金融犯罪は多様化、IT化、ボーダーレス化が進んでいます。今後の対応に関する基本方針についても触れます。

参加対象

アンチ・マネーロンダリングの態勢整備と監査に携わる方々。

参加費用

会員/賛助登録して頂いた方は初めて受講する研修の参加費用を無料とします。
会員 年会費/年賛助金 10,000 円 参加費用 初回無料、2回目以降 5,000 円
非会員 参加費用 毎回 10,000 円

プログラム

- I. 金融犯罪の検知と防止/マネロン・プログラム（概論）
 - ・マネロン・プログラムに関係する主要内外当局と要求事項
 - ・マネロン・プログラムの目的
 - ・態勢整備の成熟度/潜在リスクを測る要素
- II. 金融犯罪の検知と防止/マネロン・プログラム（各論）
 - ・本邦金融当局の監督指針・検査マニュアルからみた重要ポイント
 - ・マネロン監査計画時の留意点（役割、ねらい、範囲、要員と資源配分）
 - ・マネロン監査実施時の留意点（発見事象の重みづけと扱い）
- III. 金融犯罪の変化と今後の対応策
 - ・前提犯罪の多様化、金融犯罪のIT化/ボーダーレス化

講師 プロモントリー・フィナンシャル・ジャパン
マネージング・ディレクター 信森 毅博 氏
ディレクター 島崎 高行 氏

受講証明

CIA、CISA、CFE 等に係る CPE 申請のための受講証明を発行します（4CPE）

申し込み

協会ホームページよりお申し込みください。 https://ifra.jp/seminar_info/index.html